

立正大学学園 平成29年度決算報告

本学園の平成29年度決算は、理事会、ならびに評議員会において承認可決されました。ここにその概要を説明します。

1. 事業活動収支計算書について

事業活動収入計は16,133,180千円で、対前年度比228,457千円、1.4%の増となりました。これは主に経常費等補助金が260,919千円増額したことなどによるものです。これに対し事業活動支出計は15,633,459千円で、対前年度比△80,462千円、0.5%の減となりました。これは主に教育研究経費（修繕費など）が減少したことによるものです。基本金組入額は806,514千円で、対前年度比△390,811千円、32.6%の減となりました。

当年度収支差額は△306,793千円であり、これに前年度繰越収支差額△2,159,374千円を加算すると翌年度繰越収支差額は△2,466,167千円となりました。

次に、主な科目の内容について概略説明します。

「学生生徒等納付金」は、事業活動収入計の71.3%を占め、授業料・入学金・施設設備資金などからなっています。「手数料」は主に入学検定料で、志願者数（検定料の対象者数）は大学で13,562名、金額にして346,625千円、中学・高校は838名、金額にして16,760千円となりました。

「寄付金」は、日蓮宗 73,000千円、新入生父母 10,100千円などの他、当年度から勧募が開始された開校150周年記念募金 25,321千円が主なものです。

「補助金」は、大学に対して国から補助されたものが 893,146千円、中学・高校に対して東京都から補助されたものが 567,238千円などです。

「人件費」は、事業活動支出計の51.5%を占めますが、これには教職員約1,300名（非常勤含む）の給与、退職給与引当金繰入額が含まれております。

「教育研究経費」は、教育研究業務にかかわる人件費以外の諸経費で、修繕費、旅費交通費、奨学費、印刷製本費、光熱水料費、賃借料、委託費、減価償却額などです。「管理経費」は、法人業務、食堂喫茶、学生寮、研修所および学生募集にかかわる人件費以外の諸経費で、旅費交通費、広告料、印刷製本費、委託費、減価償却額などです。

「基本金組入額」は、校地・校舎・機器備品・図書などの教育研究条件の整備充実のために要する支出を事業活動収入のうちから組み入れるものです。第1号基本金の品川キャンパス近隣土地取得に係る組入れ、馬込キャンパス校地取得に係る借入金返済による当期組入れ、第2号基本金組入れ計画に基づく組入れが主たるものです。その結果、当期組入高は806,514千円となっています。

2. 資金収支計算書について

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに支払資金の収入及び支出のてん末を明らかにするものです。資金の収入額は27,997,259千円でこれに前年度から繰越された支払資金12,476,938千円（29年4月1日現在の支払資金残高）を加えた40,474,197千円が当年度の収入総額です。ここから人件費支出以下の当年度中に支出された額28,421,636千円を差し引いた残り12,052,561千円が翌年度へ繰越される支払資金となりました。

主な支出科目の内容を説明します。

「借入金等返済支出」は、日本私立学校振興・共済事業団への返済 150,000千円、東京都私学財団への返済 235,692千円です。

「施設関係支出」は、品川キャンパス4号館耐震補強工事29,459千円、同3号館空調機更新工事78,882千円、同第一次施設整備事業51,036千円などです。

「資産運用支出」は、第2号基本金引当特定資産950,000千円、第3号基本金引当特定資産1,981,987千円、減価償却引当特定資産6,003,390千円、周年記念事業引当特定預金2,000千円を積立したものです。

「その他の支出」は、前期末未払金支払支出924,227千円などです。

3. 貸借対照表について

本学園が所有しております資産の総額は、前年度と比べ420,119千円増加(0.4%増)し、101,574,975千円となり、これに対し負債の総額は、前年度に比べ79,602千円減少(1.0%減)し、8,294,408千円となり、総資産に対する総負債の割合は8.2%（40%以下なら健全といわれております）となりました。総資産から総負債を引

いた 93,280,567千円(対前年度499,722千円増)が正味財産となります。基本金は95,746,734千円であり、繰越収支差額は△2,466,167千円となりました。

主な科目の内容について概略説明します。

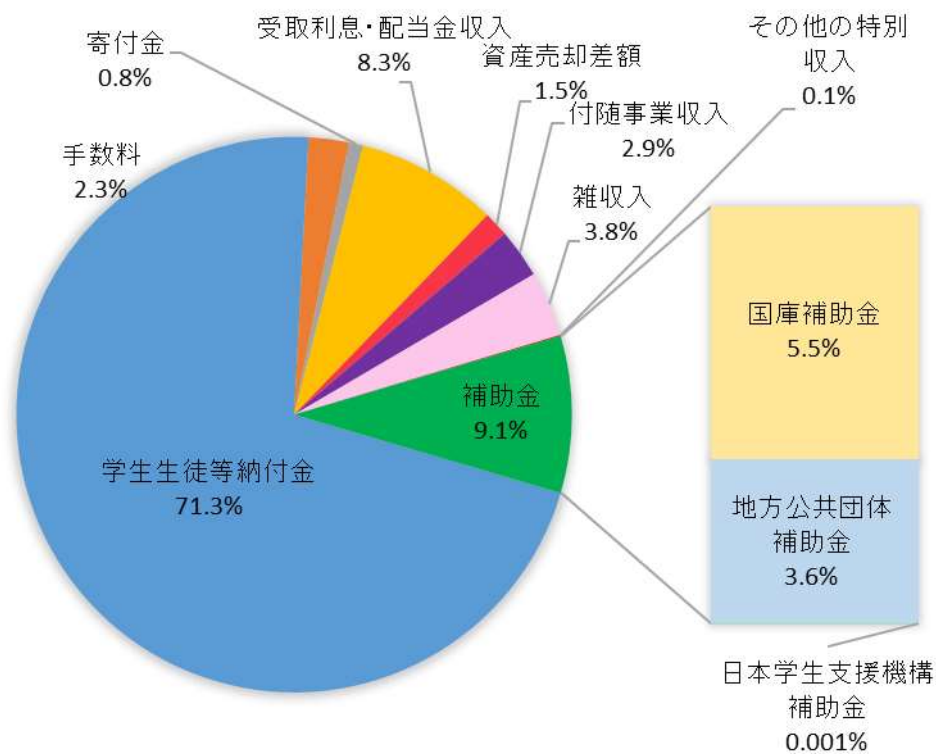
資産の部の「有形固定資産」36,552,263千円は、減価償却引当金46,945,568千円控除後の金額です。「第2号基本金引当特定資産」1,748,964千円は立正大学品川キャンパス新校舎建設計画、「第3号基本金引当特定資産」10,000,000千円は石橋湛山記念基金、「減価償却引当特定資産」23,472,784千円は、既存建物の建替資金確保のため、減価償却によって回収した資金の積立資産です。「退職給与引当特定資産」1,615,202千円は、退職給与引当金3,216,921千円の約1/2額です。

負債の部の「長期借入金」1,250千円と「短期借入金」385,910千円は、日本私立学校振興・共済事業団ならびに東京都私学財団からの借入金です。「前受金」3,199,852千円は、平成30年度入学者の学費・寮費などで、平成29年度中に入金になった額です。

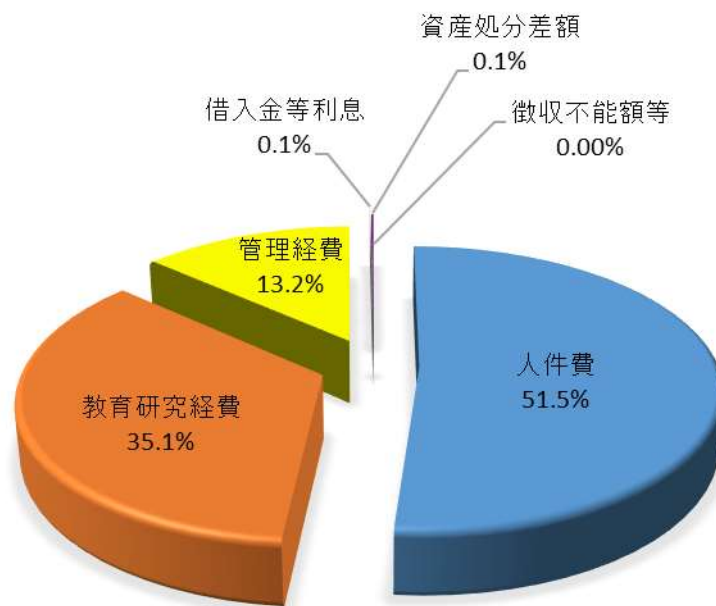
純資産の部の「第1号基本金」は固定資産の取得に要した額、「第2号基本金」は立正大学品川キャンパス新校舎建設計画、「第3号基本金」は石橋湛山記念基金、「第4号基本金」は恒常的に保持すべき資金の額としてそれぞれ組み入れた額です。

以上

事業活動収入



事業活動支出



事業活動支出 + 基本金組入額

